

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	放課後児童ヘルパーの設置						掲載ページ	
							56	
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局
		0	千円	0	千円	施策名	放課後児童クラブ	担当課
							子ども家庭局	子育て支援課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	地域の特色を活かした放課後児童クラブの活動を推進していくため、地域と連携を図り、地域の人材を「放課後児童ヘルパー」として登録し、活動を支援していきます。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画		夏の教室（地域版）のモデル事業の実施に併せ、放課後児童ヘルパーを活用したモデル事業を実施し、活動内容の充実に向けた取り組み手法等の検討を行います。なお、モデル事業は6クラブ程度で実施します。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）		【活動の状況】		
	ヘルパー活用クラブの割合	0 %	単年度の目標設定はありません	8.2 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
	放課後児童クラブの多くは、地域の方々が運営に参画されており、地域の特色を活かした放課後児童クラブの活動を推進していくために、「放課後児童ヘルパー」として登録し、活動を支援していきます。  (最終目標と最終年度) 50% (26年度)					順調		
					やや遅れ	順調		
	(最終目標と最終年度)			遅れ				

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	夏の教室（地域版）のモデル事業の実施に併せ、12クラブで放課後児童ヘルパー（地域の高齢者、大学生等）を活用したモデル事業を実施しました。これらのクラブでは、地域の高齢者等が、クラブの清掃活動等の支援を行い、普段取り組めない活動を行うことができたことから、モデル期間終了後も、この取り組みを継続・発展させ、魅力あるクラブづくりを進めています。地域の人材を活用することで、地域の特色を活かした活動が促進され、クラブの魅力向上に繋がっています。有効性の高い取り組みと考えています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	地域の身近なところで、クラブの活動を支援してくれる人材を確保することができるので、経済性・効率性が高い取り組みと考えています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
23年度のモデル事業の取り組みの結果（課題・成果等）を報告書にまとめ、指導員研修会を通じて全放課後児童クラブに紹介し、各クラブの取り組みを促進していきます。なお、取り組みにあたっては、夏の教室（地域版）の実施に併せ、放課後児童ヘルパー等を活用し、地域の特色を活かした魅力あるクラブづくりを進めていきます。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	夏の教室(地域版)の実施						掲載ページ		
							56		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局	子ども家庭局
		1,810	千円	2,371	千円	施策名	放課後児童クラブ	担当課	子育て支援課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価		
目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	スポーツ、文化等の指導員の派遣や放課後児童ヘルパー等の地域力の活用などにより、夏季休業日中に小学校で一週間程度実施されている「夏の教室」の地域版を放課後児童クラブで実施し、生活体験や自然体験、スポーツや伝統文化などさまざまな体験をさせるとともに、学習習慣を養います。また、学校との連携により、校内で育てている動植物の世話や観察などを行います。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	スポーツ等さまざまな体験活動に取り組むモデル事業を6クラブ程度で実施します。なお、モデル事業の実施にあたっては、放課後児童ヘルパーを活用したり、高学年をジュニアリーダーに位置づけて行います。また、JICA九州による国際協力出前講座も実施します。							
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)	前年度実績	目標	実績(達成率)		【活動の状況】		
	実施クラブの割合	0 %	単年度の目標設定はありません	8.2 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
	放課後児童ヘルパー等の地域力の活用などにより、夏季休業日中の放課後児童クラブの活動内容の充実を図ります。 (最終目標と最終年度)50%(26年度)					順調	やや遅れ	順調
	(最終目標と最終年度)	遅れ						

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	12クラブで、夏の教室(地域版)のモデル事業を実施し、スポーツ等のさまざまな体験活動を実施しました。モデル事業の実施にあたっては、放課後児童ヘルパー(地域の高齢者等)を活用したり、高学年児童をジュニアリーダーに位置づけて行いました。その結果、児童にさまざまな体験の機会を提供することができ、活動内容の充実が図られたことから、これらのクラブでは、モデル期間終了後も、この取り組みを継続・発展させ、魅力あるクラブづくりを進めています。有効性の高い取り組みと考えています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	体験活動の実施にあたり、放課後児童ヘルパー等地域の人材を活用するとともに、各クラブで活動内容を企画・実施するので、経済性・効率性の高い取り組みと考えています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
23年度のモデル事業の取り組みの結果(課題・成果等)を報告書にまとめ、指導員研修会を通じて全放課後児童クラブに紹介し、各クラブの取り組みを促進していきます。なお、取り組みにあたっては、夏の教室(地域版)の実施に併せ、放課後児童ヘルパー等を活用し、地域の特色を活かした魅力あるクラブづくりを進めていきます。

# 「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	放課後ジュニアリーダープログラムの展開						掲載ページ	
							56	
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	仕事と子育ての両立支援	担当局
		0	千円	0	千円	施策名	放課後児童クラブ	担当課
							子ども家庭局	
							子育て支援課	

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	高学年児童(5~6年生)をジュニアリーダーとし、指導員、放課後児童ヘルパーとともに、低学年児童等のお世話をすることで、高学年児童の思いやりの心や自立心を促していきます。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動計画	夏の教室(地域版)のモデル事業の実施に併せ、高学年児童をジュニアリーダーに位置づけ、体験活動に関わらせるモデル事業を実施します。モデル事業は6クラブ程度で実施します。						
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の考え方)		前年度実績	目標	実績(達成率)	【活動の状況】	
	実施クラブの割合		0 %	単年度の目標設定はありません	8.2 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	高学年児童の受け入れに伴い、異学年間の交流を活かした活動内容の充実を図ります。 (最終目標と最終年度)50%(26年度)						
						順調	順調
(最終目標と最終年度)					やや遅れ		
					遅れ		

【Check】評価(分析)		
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。  夏の教室(地域版)のモデル事業の実施に併せ、12クラブで、高学年児童をジュニアリーダーに位置づけたモデル事業を実施しました。これらのクラブでは、体験活動の中で、高学年児童が指導員のお手伝い等を積極的に行い、普段取り組めない活動を行うことができたことから、モデル期間終了後もこの取り組みを継続・発展させ、魅力あるクラブづくりを進めています。なお、この活動の中で、低学年児童との異学年交流が促進され、高学年児童に思いやりや精神的な成長が見られました。有効性の高い取り組みと考えています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。  普段、利用しているクラブ(身近な場所)で、思いやりの心等を育む貴重な体験活動(夏の教室(地域版)等での活動)ができることから、効率性の高い取り組みと考えています。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
23年度のモデル事業の取り組みの結果(課題・成果等)を報告書にまとめ、指導員研修会を通じて全放課後児童クラブに紹介し、各クラブの取り組みを促進していきます。なお、取り組みにあたっては、夏の教室(地域版)の実施に併せ、放課後ジュニアリーダー等を活用し、地域の特色を活かした魅力あるクラブづくりを進めていきます。